

9月23日、農林畜産食品部は京畿道金浦の豚農場でアフリカ豚コレラの疑い畜申告があったとの報道資料を発出したところ概要以下のとおり。

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGbwWFmc mElMkY20CUyRjMyMTM5MiUyRmFydGNsVmIldy5kbyUzRg%3D%3D>

【見出し】

京畿道金浦市所在の豚農場1か所でアフリカ豚コレラ (ASF) 疑い畜申告

【本文】

(防疫状況) 農林畜産食品部は9月23日(月)、重点管理地域内に位置する京畿道金浦市所在の豚農場でアフリカ豚コレラ(以下「ASF」)疑い畜申告1件が受け付けられたと明らかにした。

申告農場は農場主が9月23日に母豚4頭の異常の症状を確認し、金浦市に疑い申告をした。

*トンジン邑所在農場: 豚1,800頭(母豚180頭)飼育・坡州発生農場から約13.7キロ、漣川の発生農場から45.8kmに位置

農食品部は、申告を受けた直後、該当農家に初動防疫チーム(各2人)を投入して、人、家畜や車両等の移動統制、消毒など緊急防疫措置を実施中である。

(協力事項) 畜産農家及び畜産関係者は「ASF発生及び伝播防止のため農場及び関連施設に対する消毒などの防疫措置を十分に行うとともに疑いの症状の有無を綿密に観察し、異常がある場合には家畜防疫機関などに速やかに届け出るよう要請した。

※家畜伝染病統合通報番号:(局番なし) ☎1588-9060/4060

(以上)